

2023年7月14日

日立 Astemo 株式会社

交差点や単路での衝突被害軽減ブレーキを可能とする 広角ステレオカメラによるセンシングシステムがいすゞの新型エルフに採用



新型エルフ



新型エルフに採用されたステレオカメラ

日立 Astemo 株式会社(以下、日立 Astemo)の交差点や単路での衝突被害軽減ブレーキに対応した広角ステレオカメラによるセンシングシステムが、いすゞ自動車株式会社(以下、いすゞ)の新型エルフに採用されました。

安全装備が一層充実した新型エルフには、国内小型トラックでは初搭載となる、前方からだけでなく交差点での右左折時の衝突被害軽減ブレーキ^{*1}を搭載し発売されています。

^{*1} 車両購入時のオプション追加により実装される機能

交通事故を防止する有効な対策として国土交通省では、乗用車だけでなく、トラックなどの商用車への衝突被害軽減ブレーキの義務化を推進しています。トラックによる事故は年々、減少しているものの、対人死亡事故の6割が車両の単路走行時、さらに4割が交差点内右左折時に起きており^{*2}、広い視野角をカバーできる衝突被害軽減ブレーキの必要性は高まっています。

^{*2} 国土交通省 自動車運送事業に係る交通事故対策検討会報告書(令和3年度)内統計数値より

いすゞにおける商用車の豊富な知見により、交差点内右左折時の衝突軽減ブレーキ実現に向けたトラック特有のユースケースの想定と、その対応に必要な仕様設定を当社が受け、いすゞ向けセンシングシステムの開発を進めました。このたび、新型エルフに採用されたステレオカメラによるセンシングシステムには、検知範囲拡大を可能にした120度広角ステレオカメラが用いられています^{*3}。この広角ステレオカメラをトラックの安全装備として広く採用されるミリ波レーダーの検知情報と連携させ、交差点ブレーキ対応を可能とする新開発の制御ソフトを実装することで、より高精度な広角検知を実現し、交差点や単路における衝突被害軽減ブレーキを可能とするセンシングシステムとなっています。

*3 交差点での衝突被害軽減ブレーキを可能とする広い画角検知に対応したステレオカメラに関する 2019 年 12 月 25 日発表

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/12/1225.html>

今後も日立 Astemo は、商用車メーカーにおける、高度な先進安全運転支援技術を通じた車両の安全機能を拡張するニーズに対応し、ステレオカメラなどセンシング製品の採用拡大を図っていきます。

日立 Astemo は、パワートレイン & セーフティシステム事業をはじめシャシー事業、モーターサイクル事業、ソフトウェア事業、アフターマーケット事業から成る戦略的な事業ポートフォリオにより、事業強化と技術革新に取り組んでいます。「グリーン」、「デジタル」、「イノベーション」を軸とした成長をめざし、排出ガスを低減する高効率な内燃機関システムと電動システムでより良い地球環境に貢献し、自動運転や先進運転支援システム、先進シャシーシステムで安全性・快適性を向上させていきます。このような先進的なモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な社会の実現とともに、お客さまの企業価値の向上に貢献していきます。

■会社概要

日立 Astemo 株式会社

本 社：東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容：自動車部品および輸送用ならびに産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

詳しくは、日立 Astemo のウェブサイト(<https://www.hitachiastemo.com/jp/>)をご覧ください。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
